

「湘北」は、
湘北地区社会福祉協議会が
毎年2回発行しています。



～ 湘北地区の人口・世帯数 ～

	人口	世帯
鶴が台	5,060(-80)	2,477(-33)
香川	11,666(153)	4,480(105)
松風台	1,494(-55)	582(-25)
甘沼	5,373(55)	2,008(-95)
みずき	2,971(373)	1,037(104)
湘北地区	26,564(446)	10,584(56)
茅ヶ崎市	235,614(820)	94,176(-102)

2011年 8月 1日速報値 ()内は対前年比

平成23年度にあたって

会長 青木 有俱

湘北地区社協の事業には、①地区全体で取り組むものとして、公民館祭りのバザー(11月5日)、健康福祉講座(年2回)、広報「湘北」の発行(年2回)、ボランティア入門講座の開催(11月に4回の連続講座)、地域福祉を考える懇談会の開催、ホームページの運営です。これらはほぼ例年通りで、分科会を作って進めています。これを新しい理事・評議員を迎えて、それぞれ工夫を凝らして実施すべく準備が始まっています。

次に②自治会地域が単位となった地域社協の活動があります。湘北地区は身近なサロンやミニデイ活動が大変活発で、社協以外の活動も含めて地区内で20ほどの活動が行われています。今年度はそれらのほかに二つの特徴的な事業があります。③湘北地区社協の設立25周年を迎えるのに記念事業の開催です。先の20周年には記念誌を発行しました。25周年の今年にはこれまでに実現してきた地区社協の活動全体を見わたしながらその成果の上に今後の活動の方向を考えて見たいと思います。1月22日の午後開催の予定で、地区の活動を紹介するほか、ルーテル学院大学学長の市川一宏先生をお招きして記念講演と簡単な立食パーティーを計画しています。

④市の地域福祉活動のモデル事業の「地域福祉コーディネータ配置事業」が本格的に始まりました。高齢化社会の到来で、地域の福祉に関する要望も多岐にわたり、既存の制度や組織だけでは十分と言えない状況があります。その中で、地域の関係組織が連携して地域福祉の課題へのよりよい対応を探っていく活動です。モデル地区は、湘北と浜須賀の2地区が指定され、平成22年から平成24年まで3年間にわたって実施されるものです。地域福祉はどうあるべきかを考える一つのヒントとして、最近講演をお聴

きた星旦二首都大学東京・大学院教授の次の言葉をご紹介いたします。星教授は「ピンピンコロリの法則」の著者で、こんな人が長生きです!として紹介している事項です。それは、よくお出かけする、毎日お酒を飲む(但し適量)、かかりつけの歯科医がいる、財布は自分が握る、仕事をしている・ボランティア活動をしている、自分は健康だと思おうとして、そのようなことが豊かにあふれる地域づくりを提唱されています。



青木 有俱 会長

分科会の活動

10月以降実施の分科会の活動をご紹介します。

- ①公民館祭りのバザー
11月4日・11月6日に行われる香川公民館祭りで、11月5日にバザーを出店し、綿菓子、ウロン茶、カレーライス、水飴せんべい等を販売します。今年度は福祉施設「工房 絵(かい)」、「翔の会・スタジオ ウズ」さんの出店のお手伝いもします。
- ②健康福祉講座
9月26日に「いわゆる健康食品のもつ危険な落とし穴」と題して神奈川県衛生研究所の熊坂先生のお話を聴きました。来年にも新たな企画で開催します。
- ③ボランティア入門講座
11月2、9、16、30日の全4回にわたり開催します。申込締切は10月22日。定員25名で先着順です。保育がありますので、お子様も一緒に。
- ④地域福祉を考える懇談会
「街探検」により地域の生活上の問題点を福祉の視点で掘り起こしていきます。今年度は甘沼地区で実施予定。

ボランティアセンター
住民の支え合い活動の窓口

湘北地区の皆さんにはすでにおなじみのボランティアセンター(通称 ボラセン)です。毎日の生活の中で「ちょっとした困りごと」を相談していただいた場合、ボランティアセンターのコーディネーターが困りごとの内容を伺いながら、ふさわしいボランティアサポーターを紹介いたします。

現在登録されているボランティアサポーターは29名です。自分の出来ることとが他者の役に立つのであればと登録しておられます。年々高齢化が進む社会情勢の中で、サポーター自身も高齢者が多いのが実情ですが、ボランティア活動を通じて自分自身の人生をより豊かに高めていくために生き生きと活動していただいています。

- ☆昨年度の活動実績をご報告します。
- (1) 生活支援活動
 - ・家事援助 41件
 - ・掃除・洗濯・買物代行などです。ごみ出し・小修理 3件
 - ・草取り・刈り込みなど 32件
 - ・その他 32件
- (2) 話し相手活動 延18回
独り暮らし高齢者の方への話し相手
に月2回訪問して、趣味のことや生活のことなど、おしゃべりしながら笑顔が絶えません。
- (3) お元気ですかコール 延51回
体が不自由だったり、慢性的な疾病をお持ちの独り暮らしの高齢者の方へボランティアセンターから毎週1回電話をして安否を確認しています。

(4) コミュニティーサロン
昨年7月から始めて、延9回実施し、163名の方に参加いただきました。毎月1回第1金曜日午後1時から3時まで開いています。
コーヒール、紅茶各50円でお菓子も付いて好評です。地区の皆さんのふれあいの場、憩いの場になって楽しい雰囲気になります。

サロンではサポーター以外にもお手伝いしてくださる方もあり、本当に感謝しています。
☆平成22年から茅ヶ崎市の第2期地域福祉計画に示された、「地域福祉コーディネータ配置事業」が始まり、浜須賀と湘北がモデル地区に選ばれました。これは地区ボランティアセンターにコミュニティソーシャルワーカー(専門員)を配置して地区支援チームを作り、さまざまな生活課題の相談に対応しようというものです。

まず「福祉なんでも相談」を毎月第1火曜日午前10時から12時まで開設しました。電話やボランティアセンターに来所して気軽にご相談ください。お受けした相談は必要な専門機関につなげたり、福祉サービスを紹介し、より安心して生活いただけるよう配慮します。
高齢化や核家族が進み、独居高齢者が増えたり、障害のある方が自力で問題解決できないまま地域から孤立してしまうことがないように身近な相談の場としてボランティアセンター事業が始まったのです。

一人では何も出来ないけれども住民同志が知恵を出し合い、支えあうことが安心・安全そして安定した生活を送るために大切だと思います。どうぞボランティアセンターを利用してください。

ご長寿紹介

自治会長さまから紹介いただいた、ご夫妻あわせて160歳以上の健康なご長寿2組に、夫婦円満や長寿の秘訣などをお伺いしました。

○湯川様ご夫妻(ご主人90歳・奥様86歳)
ご主人は幼少より飛行機に興味を持っておられました。戦後はわが国では飛行機の製造はできなくなったので建築資材の開発に移り、60年以上も続けられました。現在も紙の不燃化・耐水性化について発明をするかたわらで、「自分史」の出版を行うなど多忙な毎日、今でもスクーターに乗って飛び回っておられます。

奥様は川崎・茅ヶ崎・松林等の小学校の教師を25年間勤められた後、なぎさ保育園の園長を25年間勤められました。72歳で退職後は、ご主人の日常業務の手伝いと健康管理に気を配りながら、家事に専念されているとのことでした。

元気の秘訣は、毎日歩くこと、朝早く起きて食事は何でも食べること。

散歩を兼ねて二人で茅ヶ崎駅方面まで歩いて買い物に行くことがあり、たまに1人で歩いていると今日は1人ですかと声をかけられるとのことでした。ご主人からの『我々の若い時は日本を復興させようと力を合わせて頑張ってきた。今遭遇している困難に対して若い人が大いに力を発揮して欲しい』との思いを受けてインタビューを終了しました。



○松島様ご夫妻(ご主人83歳・奥様79歳)
ご結婚は昭和26年3月。ご主人23歳、奥様20歳の時。親同士が決めた結婚だったとのこと。

以来60年、お二人のお子様は独立され、現在はご夫妻で仲良く暮らしておいでです。

「元気でいられるのは、終戦後の物の無い時代と環境の悪い田舎で育ったことが、逆境に耐え、障害を乗り越える力になったようだ」と話していただきました。夫婦そろって買い物に行くのも楽しみのことでした。

お互いに思っていることは率直に話し合っており、不満があるときは我慢せず、不平不満があるときは我慢せず、不平不満がない主義なので、それが「長年連れ添えた秘訣かな？」とのこと。



☆インタビューの感想です☆
ご夫妻も、買い物を始め、外出することを心がけておられました。また、若い時に培ったものを気概として持ち続けておられました。
星 且二教授の「お出かけ」を実践されています。
いつまでもご健康でお過ごしください。次号でも別の「ご長寿を紹介する予定です。お楽しみに。」

地域の子育て支援

湘北地区ではいくつかの子育て支援活動が行われています。その中で最近発足した支援グループを紹介いたします。

○香川「ここにこサークル」
昨年の10月に発足しました。香川自治会館の第一会議室で、毎月第1、第3、第4金曜日、午前10時から午後3時まで開いています。

時間内は出入り自由でお弁当やおやつなども自由にたべられ、給湯室があるのでミルクも作ることが出来ます。子育て中の母親同士、子供同士がコミュニケーションを図ることにより、地域とのつながりができるので、子育て中の母親の孤立化が防止できます。

子育て経験のあるボランティアスタッフがおりますので、悩み相談やストレス解消の場にもなっています。年に数回お楽しみ会(クリスマス会など)や親向け講座などのイベントを開催する予定です。子育て中のママやパパはもちろんこれからママやパパになる方も気軽においでください。

お子さんを好きなおばあちゃん、おじいちゃんもお越しください。かわいいチビちゃんたちと遊びましょう。また子育て支援をしていたらだけのボランティアスタッフさんたちも募集中です。

今後のイベント情報です。
☆赤ちゃんの手話☆ベビーサイン☆子供医療講座&相談室☆パネルシアター☆親子リトミック☆ママの体操教室☆ママの手芸教室。詳細は回覧板にてご覧になるか、直接お問い合わせください。



「みずき」 「みずきズ」

「子どもたちの遊び場とママたちのおしやりタイム」です。地域の方々とコミュニケーションを図り、子育て支援を目的として、平成21年4月に発足しました。

最初は月1回でしたが、お母様方の要望に応え今年4月から毎月第2、第4木曜日の午前10時から12時30分まで、みずきコミュニケーションハウスで開いています。

生後3ヶ月から就学前のお子さんとそのお母さんが、お子さんを遊ばせながら、育児のやり方などでコミュニケーションを図っておられます。

約20組に対して10名位のスタッフで見守っています。スタッフは準備や後片付けをお願いする外、元自治会長さんが来ていただいております。おじいちゃん役として男のお子さんに人気があります。

香川、松風台、甘沼など近隣からも来られていますので、みずき以外の方も歓迎です。参加費は保険料込みで50円です。

今年はこのイベントも企画しました。☆医療講座(9月22日)「乳がん検診の必要性」☆育児講座(10月以降)「育児の話」

市社協の紹介

地区社協を支援いただいている茅ヶ崎市社会福祉協議会の紹介をさせていただきます。

①福祉相談
生活上の様々な悩みや課題についての相談を受けています。また、次のセンターでは専門相談も行っていきます。

●ボランティアセンター
ボランティアをお願ひしたい方やボランティア活動をしたい方の相談

●障害者生活支援センター
障害に関わる相談

●あんしんセンター
判断能力が不十分な方の手続き等の支援に関わる相談

②地区社協活動・地区ボランティアセンター活動の推進
それぞれの地域にあった福祉活動を推進するため、地区担当職員を配置し、情報提供や課題解決に向けて、ともに検討するほか、助成金による活動の支援を行っています。

③ボランティア活動の推進
ボランティアコーディネーターが、活動に関する相談を受けそれぞれの希望にあわせて情報提供や活動の紹介を行っています。

また、ボランティア大学、ユースボランティア等の講座により、ボランティア活動の普及を行っています。

④その他の事業
☆障害者・難病患者等へのホームヘルプサービス ☆在宅老人等給食サービス ☆ハンディキャブ(車いす送迎車)の運行 ☆生活福祉資金・小口生活資金の貸付 ☆要援護(低所得)世帯への援助 ☆車いす・布おもちの貸出 などを行っています。

⑤第4次茅ヶ崎市地域活動計画を推進します。
「一人ひとりが生き生きと暮らせる福祉のまちづくり」を基本理念として、地域福祉の推進を目指して協働する人たちの具体的な活動を位置づけた計画で、今年の3月に改定しました。引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

生活や福祉に関すること、ちよつとした気になることでも、まずは(85)9650にお電話下さい。

編集委員

- 今福国吉 (ヲトウ)
- 衛藤正視 (甘沼)
- 前出郁子 (香川)
- 杏澤幸子 (香川)
- 中山七恵 (香川)
- 中村博子 (香川)
- 井上和子 (鶴が台)
- 小川自子 (鶴が台)
- 深栖健男 (みずき)